| 科目ナンバリング | G-LAS14 80010 LJ90 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<英訳> | 知的財産経営学基礎<br>Intellectual Property Management in Medical Science | | | 担当者所属職名・氏名 | 医学研究科　特定教授 早乙女　周子 | | |
| 群 | 大学院横断教育科目群 | 分野(分類) | キャリア形成系 | | | 使用言語 | 日本語 |
| 旧群 | | 単位数 | 2単位 | 時間数 | 30時間 | 授業形態 | 講義（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2024・<br>前期集中 | 曜時限 | 集中 | 配当学年 | 大学院生 | 対象学生 | 全学向 |

（医学研究科の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

**[授業の概要・目的]**

オープンイノベーションが推進される中、企業研究者のみならずアカデミアの研究者も知的財産や契約に関する知識を持ち、円滑な産学連携活動を行うスキルが求められている。本講義では、ライフサイエンス分野の研究成果を社会に還元するために必要な、産学連携に関する知識と知的財産マネジメントについて学習する。

具体的には、ライフサイエンス企業のニーズとオープンイノベーションモデル、特許制度の概要、契約について学習する。内容は創薬や医学が中心になるが、受講者のバックグラウンドを考慮し、食品や医療機器等のライフサイエンス産業も入れて講義する

最終的には、ライフサイエンス系の研究者が各自の研究生活において、他者権利の侵害回避、自身の研究成果の権利確保と活用に関して自己の判断で問題点を整理し、専門家の助言を適時に得ながら、産学連携を通じて円滑に事業化に進めて行く能力が獲得できる。

**[到達目標]**

知的財産権の基礎知識を習得し、自身の研究成果の権利確保とその活用について理解することができる。
連携の形態及び契約についての基礎知識を習得し、他者との連携を円滑に進める能力が習得できる。

**[授業計画と内容]**

第 1回 4月 9日：イントロダクション
第 2回 4月16日：知的財産権とは
第 3回 4月23日：特許の実務ポイント
第 4回 4月30日：特許明細書の基礎
第 5回 5月7日：特許出願の調査方法I
第 6回 5月14日：外国出願戦略
第 7回 5月 21日：権利侵害
第 8回 5月 28日：研究マテリアル移転契約（MTA）
第 9回 6月 4日：共同研究契約
第10回 6月11日：実験ノート
第11回 6月25日：発明概要書作成（演習）
第12回 7月 2日：ライフサイエンス特許に関するトピックスI
第13回 7月 9日：ライフサイエンス特許に関するトピックスII
第14回 7月16日：発明概要書講評（演習）
第15回 7月23日：技術移転

知的財産経営学基礎(2)へ続く↓↓↓

**知的財産経営学基礎(2)**

**[履修要件]**

ライフサイエンスと知的財産に興味のある学生ならどなたでも受講できます。

**[成績評価の方法・観点]**

平常点（講義中の質問、講義内容の理解度、講義に対する積極性）、課題の内容により総合的に評価する。

**[教科書]**

特になし。必要な資料は講義にて配布する。

**[参考書等]**

（参考書）
角田政芳／辰巳直彦 『知的財産法 第9版』（有斐閣, 2020）ISBN:9784641221666（Maruzen eBook Libraryにて閲覧可能）
高林龍 『標準特許法 第7版』（有斐閣, 2020）ISBN:9784641243453（Maruzen eBook Libraryにて閲覧可能）

**[授業外学修（予習・復習）等]**

特になし

**[その他（オフィスアワー等）]**

講義は毎週火曜日６限、医学研究科メディカルイノベーションセンター棟１階セミナー室で行います。